

府中市公共施設の最適化に向けた検討の方向性（案）に対するパブリック・コメント手続の実施結果について

1 意見の提出期間

平成26年3月11日（火）から4月21日（月）まで

2 意見の提出者数

提出者数	件数	意見の提出方法別の人数				
		Eメール	FAX	郵送	意見投函箱	窓口
15人	92件	4人	3人	2人	1人	6人

※ 異なる方法で2回意見を提出された方がいたため、提出者数と提出方法別の人数の合計は異なります。

3 意見の概要及び意見に対する市の考え方

別紙のとおり

※ 質問や意見の内容については、概要としています。また、同一のものはまとめて記載しています。

No.	検討の方向性(案)			意見の概要	市の考え方
	区分	ページ	施設(群)名		
1	検討の方向性	11	府中グリーンプラザ	基本的には処分するという方針に賛成。既存機能は市民会館やルミエール府中等に移す。しかしながら、市の中心部である府中駅至近の場所のため、ここは維持して、市民生活に直結した業務を他の施設から移すことも考えられる。	他の施設と重複する機能や、市の中心部という立地などの特性を踏まえ、処分することをまずは検討の方向性として掲げておりますが、今後様々な活用方法を比較検討した上で、最終的に判断してまいります。
2	検討の方向性	11	府中グリーンプラザ	処分となっているが、南口再開発ビルとの関係があると思われるが、慎重な検討を求めたい。	他の施設と重複する機能や、市の中心部という立地などの特性を踏まえ、処分することをまずは検討の方向性として掲げておりますが、今後様々な活用方法を比較検討した上で、最終的に判断してまいります。
3	検討の方向性	12	市民会館	稼働率の低い施設を廃止し、他の施設からの受け皿とする。	市民会館にはホールや会議室、料理講習室など、他の施設にも存在する機能がありますので、稼働率向上の方法の1つとして、今後検討してまいります。
4	検討の方向性	13	府中の森芸術劇場	府中の重要な文化拠点であり、ぜひ維持してもらいたい。他市からも含めて、知名度や集客力は向上してきていると思う。	様々なニーズに対応できる3つのホールがあり、市内外の多くの方に利用いただいている施設であることから、短期的にはより多くの方にご利用いただけるよう知恵を絞っていくことが必要だと考えております。しかし、中長期的には、施設の老朽化の状況や収支のバランス、利用状況等を踏まえ、場合によっては施設総量の見直しも含めて取り組む必要があると考えております。
5	検討の方向性	13	府中の森芸術劇場	会議室を一部音楽練習室に転用するなど検討する。	会議室を他の機能に転用することも活用方法の1つであると考えております。しかし、新たな活用により生み出されるサービスの効果、また改修や運営方法の変更等に要する費用などを整理し、慎重に検討する必要がありますと考えております。
6	検討の方向性	14	郷土の森博物館	施設改修の時期には大幅に縮小すべき。ただし、プラネタリウムは民間事業者との連携により、維持したい。	短期的にはより多くの方に利用いただけるよう知恵を絞っていくことが必要だと考えております。また、プラネタリウムの更なる活用に向け、民間事業者との連携も検討してまいります。しかし、中長期的には、施設を維持するために必要な費用と得られる収入のバランスに注意し、場合によっては施設総量の見直しも含めて取り組んでいく必要があると考えております。
7	検討の方向性	15	ふるさと府中歴史館	処分の方向性に賛成。公文書資料は第2庁舎等に収容可能のはずである。	建築後50年近く経過し、建物の老朽化が進んでいる状況を踏まえ、検討の方向性では処分することを掲げております。また、既存機能は他の施設を活用することを検討してまいります。
8	検討の方向性	16	美術館	所有する美術品がほとんど無価値。思い切って一点豪華な絵画を購入するか、さもなければ廃止した方がよい。	様々な美術館がある中で、本市の美術館の特徴を出しながら、短期的にはより多くの方に利用いただけるよう知恵を絞っていくことが必要だと考えております。しかし、中長期的には、施設の老朽化の状況や収支のバランス、利用状況等を踏まえ、場合によっては施設総量の見直しも含めて取り組む必要があると考えております。
9	検討の方向性	17	生涯学習センター	施設改修時には廃止すべきである。	様々な機能がある複合施設で、短期的にはより多くの方に利用いただけるよう知恵を絞っていくことが必要だと考えております。しかし、中長期的には、施設の老朽化の状況や収支のバランス、利用状況等を踏まえ、場合によっては施設総量の見直しも含めて取り組む必要があると考えております。

No.	検討の方向性(案)			意見の概要	市の考え方
	区分	ページ	施設(群)名		
10	検討の方向性	20	文化センター	市の公共施設で各地域にあるのは文化センターのみである。運営方法などを検討して維持してもらいたい。	現在開催しております「文化センターあり方検討協議会」における検討結果が報告された後、その内容も踏まえ、今後の運営や維持する機能などを検討してまいります。
11	検討の方向性	20	文化センター	文化センターの窓口業務では市民の個人情報にアクセスすることも多いと思われます。民間事業者に委託することに不安を感じますので、慎重に議論していただきたい。	市民で構成する「文化センターあり方検討協議会」からの検討結果を受けて、文化センターの運営については民間事業者に委託せずに、引き続き市直営により行うこととなりました。ただし、本庁舎における証明書発行等の総合窓口業務は一部業務委託を行っておりますので、業務範囲の検討や効果の検証等を行いながら、引き続き進めてまいります。
12	検討の方向性	20	文化センター	中央文化センターの会議室や料理講習室などは、新しくなったルミエール府中(市民会館)にも同様の機能があり、重なっている部分が多いと思います。中央文化センターと、隣接する保健センターは共に老朽化が進んでいるので、1つの建物として建て替えて、施設の維持管理費を削減してはどうか。また、駐車場も1か所となるので良いのではないかと。	重複する機能の見直しは、最適化の検討を進める際の重要な視点であると考えておりますので、ご指摘いただいた点を踏まえ、各施設の具体的な検討を行ってまいります。
13	検討の方向性	26	総合体育館、地域体育館	朝日体育館は処分すべきである。総合体育館の他には、地域体育館は3か所に縮小統合し、それを補うために小中学校の体育館を充実すべきである。	地域体育館につきましては、短期的には老朽化の状況などから朝日体育館のみ処分を掲げておりますが、中長期的には、施設の老朽化の状況や収支のバランス、利用状況等を踏まえ、場合によっては施設総量の見直しも含めて取り組む必要があると考えております。
14	検討の方向性	29	地域プール	子どもの利用が多いだけに、できるだけ維持したい。	同様の機能である学校プールを活用することにより、プールの機能は維持できるよう、今後具体的な検討を進める中で、課題の整理や効果の検証を行ってまいります。
15	検討の方向性	31	市民陸上競技場、グラウンド管理所	市外の利用者が圧倒的に多いなら、東京都に借り上げてもらうことを検討すべきではないだろうか。	短期的な取組の効果を踏まえ、中長期的には、施設の老朽化の状況や収支のバランス、利用状況等を踏まえ、場合によっては施設総量の見直しも含めて取り組む必要があると考えております。
16	検討の方向性	35	庭球場	学校にも庭球場があるはずなので、市が設置する庭球場は中高年の利用者が多数を占めている。それならば庭球場は民間に払い下げて、市は手を引いて良いはず。	現在の施設の配置状況や公と民の役割分担等の点を検証し、必要施設数の見直しを検討してまいります。
17	検討の方向性	35	庭球場	スポーツ施設の中で、唯一年間1,500万円程度の収益を上げている庭球場が廃止の方向性となっているが、民間に移管するメリットと利用者の利便性の向上が図れるのか、需要とのバランスでは更に施設を増設すべき案件と考える。	稼働率が高く、単年度では収益を上げている庭球場がいくつかありますが、定期的に必要となるコートの張替えや修繕などに要する費用を踏まえたライフサイクルコストを用いて今後検証を行う必要があると考えております。また、稼働率につきましても、利用者層や1人当たりの利用回数などを参考に、公共施設として整備すべき水準を検討する必要があります。
18	検討の方向性	39	小中学校	今後、小中学校は地域により生徒数が減少し、空き教室が多くなると思われるので、保育施設や老人施設等と併用することを検討し、新たな施設は極力造らないようにすべきである。小中学校は全て耐震化が完了しているので、安全面からも問題は少ない。また、小学校は警備員も常駐している。	学校施設の活用は、今後最適化の取組を進める上で非常に重要なテーマであると考えておりますので、当面の課題である児童生徒数の増減などに対応しながら、将来を見据えた活用方法の検討を行ってまいります。

No.	検討の方向性(案)			意見の概要	市の考え方
	区分	ページ	施設(群)名		
19	検討の方向性	46	保育所	待機児童の解消を最優先し、民営化検討も良いが、公的保育所の拡充をもう一段努力すべきである。	平成26年1月に策定した「今後の保育行政のあり方に関する基本方針」において、保育・子育てサービス提供体制の再構築を掲げており、今後市立保育所は、全市的・包括的な保育・子育てサービスの拡充主体としての役割を果たせるよう、機能や取組の強化について検討してまいります。
20	検討の方向性	52	ふれあい会館	必要最小限の業務に縮小して、市役所内に移すべき。	今後施設の処分について具体的に検討する中で、現在の機能を確保する手法を検討してまいります。
21	検討の方向性	53	介護予防推進センター	本当に必要な組織及び施設なのか疑問がある。同建物内にある保育所を広げた方が良いのではないかと。	当施設は高齢者と保育所児童との世代間交流も目的のひとつとして整備された施設であり、これからの社会において、65歳以上の高齢者が要介護状態となることを予防することは、大変重要と考えております。早期に現在の施設の評価を改めて行い、その結果を踏まえ、今後の取組を検討してまいります。
22	検討の方向性	53	介護予防推進センター	毎年実施しているアンケート調査と健康度評価表の配布については無駄である。全く同じアンケートを送ってきて、全く同じ結果を送り返すという作業を繰り返している。送る方も送られる方も人手(費用)をかけている。これによりどのようなメリットがあったのでしょうか。一日も早く止めるべきである。	「基本チェックリスト」の配布・回収につきましては、厚生労働省により実施することが定められているものでございます。年に1度ですが「基本チェックリスト」により、ご自身で心身の状態を自覚していただくことも大切なことであり、またその結果により、要介護状態等となるおそれの高い方に対しては、その機能を改善するための支援をご提案することで、その状態の軽減や悪化防止につながるものと考えております。
23	検討の方向性	57	保健センター	保健センターの活用について、①休日夜間診療、母子保健事業の2つは、府中市の安全・安心を確保するためのものであり、建物の名称が変わったとしても維持し続けることとなるでしょう。問題は、③健康促進事業です。昨年からの仕組みは大幅に変更されていますが、健康増進室が高齢者及びその予備群にとって健康管理や維持促進にどれだけ貢献しているか計り知れません。市の医療費負担をかなり軽減できているのではないのでしょうか。時間や曜日の削減は考えられるかもしれませんが、この事業だけは是非継続し、高齢者の健康促進を側面から支える優しい府中市行政であって欲しいと心から望んでいます。	健康増進室の機能につきましては、利用者数だけでなく、ご指摘にあるような効果が上がっているのかどうかを検証し、明確に示す必要があると考えております。その結果を踏まえ、施設の評価を改めて行い、今後の取組を検討してまいります。
24	検討の方向性	58	保健センター分館	分館を廃止し、本館と統合することを検討とあるが、予定はいつか。	分館の本館への統合につきましては、平成26年度中を予定しております。
25	検討の方向性	58	保健センター分館	都の府中・小金井保健所が宮西町の都合同庁舎に移転した当時、どのような考えで都からの払い下げを受けたのか。また、その時点での計画は。	市民の健康づくりを総合的かつ計画的に推進するとともに、市民の健康保持及び増進を図るため、旧府中小金井保健所を保健センター分館として活用したものです。
26	検討の方向性	58	保健センター分館	現在の保健センター分館にはどのくらいの高さの建築物が建てられるのか。また、府中町1丁目地区をどのように考えているのか。	当該地は第1種中高層住居専用地域であることから、絶対的な高さ制限ではなく、周辺の道路幅員や建物の状況、敷地内に整備する建物の配置などの条件によって、建築可能な高さは変わってまいります。当該地を含む府中町1丁目は、府中市都市計画マスタープランで定める地域区分では第4地域に位置付けられ、地域の将来像及びまちづくりの目標を、①大國魂神社・けやき並木・武蔵国府跡を核とした歴史と風格のあるまち、②中心拠点としてのにぎわいのあるまち、③災害に強いまち、と定めています。

No.	検討の方向性(案)			意見の概要	市の考え方
	区分	ページ	施設(群)名		
27	検討の方向性	58	保健センター分館	保健センター分館を本館に移転した後をどのように考えているのか。	公共施設マネジメントの考え方を踏まえ、様々な活用策を検討してまいります。
28	検討の方向性	58	保健センター分館	売却や貸付により中高層建築物やマンションが建築された場合、近隣住民と建築主の間で紛争が生じることもあり、様々な点で不安や不満が生じると考えられます。このことから、物事が決定する前に近隣住民に進捗状況を逐次説明していただきたくお願いいたします。	今後の活用方法はこれから検討していく段階となりますが、周辺への影響を考慮し、適宜情報提供を行ってまいります。
29	検討の方向性	61	市営住宅	現在において、市営住宅の必要性があるのか疑問である。少なくとも、入居者の所得と保有資産を厳格に調査すべきであり、賃料は、他の手当てなどを受けている者もいるので、民間水準並みに引き上げるべきである。	市民の居住環境の向上と生活の安定のため、市営住宅を維持することは、必要であると考えております。また、その管理に当たっても適正な運用に努めております。今後は、施設の余裕空間の活用や運用面の改善などについて検討を行ってまいります。
30	検討の方向性	61	市営住宅	絶対的に少ないです。もっと計画的に増やしてください。用地は都営住宅の空き地があります。	市営住宅は21か所あり、既存施設の老朽化や住環境の整備などに対応する必要がある中で、新たに施設を増やすことは困難であると考えております。
31	検討の方向性	62	市民保養所「やちほ」	現代では、保養所のような公共施設は不要である。売却処分を行うべきである。	姉妹都市である佐久穂町との交流に当たり、施設のニーズなどを検証するため、まずはより多くの方に利用いただけるよう知恵を絞っていくことが必要だと考えております。しかし、中長期的には、施設の老朽化の状況や収支のバランス、利用状況等を踏まえ、場合によっては施設総量の見直しも含めて取り組む必要があると考えております。
32	検討の方向性	63	八ヶ岳府中山荘	セカンドスクール事業を継続するのであれば維持すべきだが、そうでなければ、一般市民のためにこのような施設を保有する必要はないので処分すべきである。	教育振興を目的とする施設であることから、まずは、その目的に沿ったセカンドスクール事業等で活用を図るとともに、運営面の改善を検討してまいります。しかし、中長期的には、施設の老朽化の状況や収支のバランス、利用状況等を踏まえ、場合によっては施設総量の見直しも含めて取り組んでいく必要があると考えております。
33	検討の方向性	65	本庁舎	①耐震等の機能面、②市民の使い勝手、③業務効率の改善、を考慮する必要があるが、最大の問題は、他の施策との優先順位を考える財政面(基金も含む)での④負担の低減化である。直近では他の自治体での庁舎建設で、権利床の活用(豊島区)、敷地の地代収入の活用(渋谷区)等が計画されている状況からも、市の資産を有効に活用し、建築費用の実質的削減が現行政の使命と考える。	庁舎の建替え場所については、多くの市民が望む現在地で進めることとし、分散化する庁舎機能の集約を1つの柱として取り組んでおります。庁舎敷地の活用や集約後の施設の活用に当たっては、周辺環境等への配慮を行いつつ、財源の確保を図ってまいりたいと考えております。
34	検討の方向性	65	本庁舎	市役所の建替えは、耐震性のないものはすぐに新しく造り、耐震性のあるものは総合計画の中で財源も含めて検討してもらいたい。	本庁舎の建替えにつきましては、現在の建物の老朽化の状況や耐震性能など踏まえ、10パターンを整備方法について、ライフサイクルコストや狭あい化、分散化の解消など様々な視点による比較検討を行った結果、西、東及び北庁舎を建替えることが最も効果的な方法であると判断したものでございます。
35	検討の方向性	65	本庁舎	総合計画に掲げる今後の8年間で、市庁舎の建替え工事は費用面でも、影響面でも最大のものです。現在の大規模工事を取り巻く状況(単価の上昇、機材や人員の不足等)は計画当初とかなり違ったものになっており、更に慎重な検討が必要だと考えます。大切な市庁舎建設にかかるお金を削減するため、機能を削り、本来の目的に合わない不十分なものにするようであればやるべきではないですし、工事の時期を数年ずらすだけで費用削減ができるのであれば、ぜひそうすべきです。	現在の本庁舎の一部は、老朽化や耐震性能などの面で課題を有していることから、災害時における業務の継続性を確保するとともに、復旧活動の拠点としての役割を果たしていくため、早急な対応が必要であると考えております。今後の事業の進め方につきましては、事業に影響を与える可能性のある様々な要素を考慮しながら、総合的に判断してまいります。

No.	検討の方向性(案)			意見の概要	市の考え方
	区分	ページ	施設(群)名		
36	検討の方向性	65	府中駅北第2庁舎	ほとんど有効活用されていないように見える。売却するか、さもなければ他の施設の廃止に伴う受け皿として効率的に活用すべきである。	新庁舎の建設により、分散する庁舎機能が統合されることから、統合後の建物等については、公共施設マネジメントの考え方を踏まえ、様々な活用策を検討してまいります。
37	検討の方向性	70	府中の森市民聖苑	ニーズは高く、なかなか予約が取れないと聞いている。ぜひ維持してもらいたい。府中の森公園周辺の施設では、この施設が最も市民のニーズに応えているのではないか。	利用状況等を踏まえ、施設総量や機能の見直しではなく、施設を活用した歳入確保策を検討してまいります。
38	検討の方向性	70	府中の森市民聖苑	現在使用するためには1週間程度の待つ必要がある。式場は50人～140人の会葬者を想定されたものとあって作られているが、近年行われる家族葬など、会葬者が少なくなっている状況に合っていない。待ち日数を短縮するためにも、1つ1つの式場の規模を小さくして、式場の数を増やしてもらいたい。	新たな活用により生み出されるサービスの効果、また改修や運営方法の変更等に要する費用などを整理し、慎重に検討する必要があると考えております。
39	検討の方向性	70	府中の森市民聖苑	近隣の葬祭場等の増加から、周辺自治体との施設活用は十分可能と考え、使用規則の変更等で施設利用率のアップを図るべきである。ただし、あくまでも市民が優先という原則は維持し、葬祭業者等の活用で空いている日時の施設の活用を行う。	今後の歳入確保策を検討する中で、利用状況や設備の定期的な保守点検の実施状況などを踏まえ、検討してまいります。
40	検討の方向性	71	府中駅南口市営駐車場	民間事業者とほぼ同水準の利用料とすべきである。	利用料につきましては、周辺駐車場と同程度の金額となっております。今後は、改修費用等も踏まえ、必要となる経費を利用料収入で確保できるよう検討してまいります。
41	検討の方向性	72	自転車駐車場	有料化すべきである。	無料臨時自転車駐車場となっている背景を踏まえ、有料化によるメリットやデメリット、運営方法などについてを検討してまいります。
42	検討の方向性	73	自転車駐車場	西府駅北口の空き地に無料自転車駐車場を造ってください。有料自転車駐車場には空きがあるかもしれませんが、有料だと面倒です。面倒だから空きができるのです。市民農園を造るほど空き地があるのですから。	無料自転車駐車場は、有料自転車駐車場を補完する施設として設置するものであり、西府駅周辺につきましては、有料自転車駐車場の利用台数が収容能力を超えていないなど、無料自転車駐車場の設置基準を満たさないため、設置を行っていません。
43	検討の方向性	73	計画的保全の取組	改築・改修工事等の設計は、従来の設計事務所ばかりでなく、改修工事のプロの設計事務所に依頼することを考慮する。	入札による事業者選定という公共事業の特殊性はありますが、事業の特性や規模等に応じて、適切な事業者の選定に努めてまいります。
44	検討の方向性	73	計画的保全の取組	予算が無いということで、姑息な改修・補修工法を採用することはせず、順序を決めて、ある程度の費用をかけ、正式な施工手順を踏んだ工法を採用する。	限られた予算の中で、施設の安全性を確保していくためには、改修が必要な施設の重要性や劣化状況などに応じた優先順位付けが重要であると考えております。今後、必要な改修を効率的に進めていくため、選択と集中の考え方を取り入れ、その仕組みを確立してまいります。
45	検討の方向性	73	計画的保全の取組	大規模な改築、改修工事については、長期の維持保全計画を提出させ、着手前に十分な検討を行う。	施設整備を検討するに当たっては、工事に要する費用だけでなく、その後の維持管理等に要する費用も含めたライフサイクルコストの検証が重要となることから、ご指摘いただいた点を踏まえ、今後の計画的保全の取組を推進してまいります。
46	検討の方向性	73	計画的保全の取組	改築、改修工事を行う場合、建築だけでなく、設備、外構、その他の付帯工事等も同時に施工する方が、仮設などの無駄が少なく、管理もしやすいので、事前に総合的な計画作りが必要と思われる。	施設整備の品質は確保しつつ、費用を抑えるため、同じ施設で必要となる工事はまとめて施工するなどの取組を行っております。今後も改善を重ね、より効率的な施設整備を進めてまいります。

No.	検討の方向性(案)			意見の概要	市の考え方
	区分	ページ	施設(群)名		
47	検討の方向性(複数)	11,15	府中グリーンプラザ、ふるさと府中歴史館(宮町図書館)	所有内容等が不明で総合的な判断はできないが、利便性が高く、再取得が難しい物件は、施設の処分ではなく、他の用途への変更(医療、保育関連等)が望ましい。	他の施設と重複する機能や、市の中心部という立地などの特性を踏まえ、処分することをまずは検討の方向性として掲げておりますが、今後様々な活用方法を比較検討した上で、最終的に判断してまいります。
48	検討の方向性(複数)	13,14,16	府中の森芸術劇場、郷土の森博物館、美術館	3施設合計で年間15億円程度の費用を要しており、個別に抜本的な改善策(民間活用や施設総量の圧縮等)が必要である。特に郷土の森博物館は、隣接する郷土の森観光情報センター(郷土の森観光物産館)を含めた削減や、駐車場用地の賃貸等の検討が必要である。	短期的にはより多くの方に利用いただけるよう知恵を絞っていくことが必要だと考えております。しかし、中長期的には、施設の老朽化の状況や収支のバランス、利用状況等を踏まえ、場合によっては施設総量の見直しも含めて取り組む必要があると考えております。
49	検討の方向性(複数)	62,63	市民保養所「やちほ」、八ヶ岳府中山荘	2施設平均で利用者1人当たりの費用が7,309円も要しており、民間会社の保養施設等での対応でもあるような、民間業者の優待契約等を活用し、コストを抜本的に削減すべきと考える。	短期的には、利用者数の増加や運営の見直しなどについて検討を行ってまいります。また、中長期的には、施設の老朽化の状況や収支のバランス、短期的な取組の効果等を踏まえ、更なる見直しを行っていく必要があると考えております。
50	その他意見	20	文化センター	中央文化センターの周辺はマンションが増加しており、選挙の際は大変混雑している。投票所として使える広い部屋を建替えの際には整備してもらいたい。	課題解決に当たっては、施設整備の面だけでなく、運用面など様々な視点から検討を行ってまいります。
51	その他意見	20	文化センター	晴見町の辺りに文化センターの設置を考えていただきたい。市境でも何らかの恩恵に浴したい。	現在、文化センターを新たに整備する予定はありませんが、公共施設全体の見直しを進める中で、長期的には施設の配置を総合的に考慮して決定する必要があるものと考えます。
52	その他意見	39	小学校	現在の小学校は公共性が皆無である。犯罪予防ということで入口のゲートや鍵、防犯カメラ、警備員など過度にセキュリティを高く設定するのは、建設コストのアップを招くだけでなく、市民は自由に、気楽に使用可能というコンセプトを持つ公共施設の目的から外れてしまうのではないかと。運営は、形式がどうであれ市民参加が望ましい。	公共施設の管理及び運営に当たっては、利用者の安全性の確保は重要な視点であり、児童生徒の安全性や防犯面などを考慮し、対応している状況でございます。また、夜間などには市民への一般開放も行っており、多くの方にご利用いただいております。運営面では、各学校にスクール・コミュニティ協議会を設置し、学校と地域で協働して教育活動の推進に取り組んでまいります。
53	その他意見	—	その他施設	府中の森市民聖苑は非常に立派な施設であり、維持管理の費用が多くかかっていると思われる。一方で近い将来、稲城市内に公営墓地やメモリアルホールができるようだが、そちらは必要最小限の規模と設備が良い。	市民のニーズなどを踏まえ、一部事務組合の構成市である稲城市とともに取り組んでまいります。
54	その他意見	—	その他施設	府中駅南口再開発に伴う「空き床」の購入は、ハコモノ行政から転換、また税金の節約のためにも止めるべきです。	市の表玄関である府中駅南口の再開発事業の総仕上げに向け、また、府中NPO・ボランティア活動センターを中心に団体支援やネットワークの構築を図り、多くの市民が集い活動の輪が広がる市民活動及び情報発信の拠点施設として、整備が必要であると考えております。
55	その他意見	—	施設全般	過去の財政状況に余裕があった時の資産を有効に活用しつつ、未来に向けて民間の力を得て、事業のスリム化を図り、今後必要となる人口減少や高齢化等の施策に充当できるよう、ダイナミックな発想の転換、構造改革を今こそ実施すべきである。	ご指摘いただいた点を踏まえ、今後の公共施設マネジメントの取組を進めてまいります。
56	その他意見	—	施設全般	時間帯別の公共施設の使われ方などによっては、縮小に賛成である。また、人件費を削減し、管理を指定管理者に移行する。	今後施設の特性に応じた様々な検討を行っていく中で、ご指摘いただいた点につきましても検討を行ってまいります。

No.	検討の方向性(案)			意見の概要	市の考え方
	区分	ページ	施設(群)名		
57	その他意見	—	施設全般	施設管理と利用内容について、市民によるチェックと意見収集が必要。	施設利用者の意見を反映するため、適宜利用者アンケートなどを行っており、今後も実施してまいります。
58	その他意見	—	施設全般	施設整備に当たってはコスト削減が重視されており、バリアフリーの観点からの問題解決が図られていない。厳密には進化していない。設計者の理屈ではなく、利用者を優先した、利用者本位の設計を行うことこそが公共性ではないだろうか。	ご指摘いただいた点を踏まえ、今後の施設整備や改修に取り組んでまいります。
59	その他意見	—	施設全般	誰が設計しようと、日本の公共建造物は単純きわまりない箱ものでしかない。芸術性がゼロであり、この芸術面も海外では建設職人が行う分野であり、そこを監督するのは施主、つまり工事発注者である。公共物は税金投入されている以上、市民の厳しい監査対象であるという視点が抜けている。	公共施設の整備に当たっては、設置目的だけでなく、財源やライフサイクルコスト、周辺環境との調和など様々な視点で検討することが重要であり、建物の意匠(芸術性)についても、その中の1つであると考えております。より多くの市民に満足いただける施設、そしてサービスが提供できるよう取り組んでまいります。
60	その他意見	—	施設全般	市役所の建築担当者も設計事務所任せにせず、改修、補修工法のセミナーに参加したり、ゼネコンやメーカーの研究所などを訪れ、新しい材料や工法等の自己研鑽を行う。	これまでも研修やセミナーなどに参加し、自己研鑽に励んできたところではございますが、今後も引き続き取り組んでまいります。
61	その他意見	—	施設全般	高齢者の利用する施設が多すぎる。公共施設をよく利用する人はある程度限られており、例え施設が少なくなっても自転車などで他の施設に通っていくので、ほとんど問題ない。私も高齢者ですが、市内は遠くまで自転車でいきます。その方がボケ防止と健康増進に役立ちます。	ご指摘いただいた点を踏まえ、今後の公共施設マネジメントの取組を進めてまいります。
62	その他意見	—	施設全般	税金で造る公共施設の基本事項は、①安全で、②使いやすく、③シンプルで、④耐久性が高く、⑤維持保全に伴う費用が安いことだと考えている。これが市の財政にとっても、また納税者である市民にとっても一番歓迎されることである。今までのような豪華で意匠に凝った建物は、過去の遺物である。今後の施設の整備に当たっては、この5項目も考慮していただきたい。	ご指摘いただいた点を踏まえ、今後の公共施設マネジメントの取組を進めてまいります。
63	その他意見	—	施設全般	府中市の公共施設は、良く言えば非常に充実しており、市民満足度が高いと言われますが、市の将来を考えている人には、維持保全のための費用がかかりすぎて、市の財政を圧迫している無駄で、無計画な施設が多すぎると思われる。もう待ったなしの時期にきています。今から統廃合や閉鎖等の荒療治に取り組まないと大変なことになる。市の現状を市民に正確に説明して、市民にも我慢をお願いすることが必要です。良識のある市民は協力を惜しまないと思います。	ご指摘いただいた点を踏まえ、今後の公共施設マネジメントの取組を進めてまいります。
64	その他意見	—	施設全般	管理責任を意識するあまりに何でも市職員がやることを止めて、夜10時まで開館している中央図書館の民間の運営のように、市民から喜ばれるソフトを市が率先して実行されるよう意識改革も進めてください。	ご指摘いただいた点を踏まえ、今後の公共施設マネジメントの取組を進めてまいります。
65	その他意見	—	施設全般	府中市が今後進める政策を考えた場合、どうしても施設の整備が必要になるかもしれません。そのときに、「用地が無い」ということにならないためにも、現存する市有地等を手放すことは極力避けたいと思っております。売って一時的に資金を得るより、その場所を生かして資金を継続的に生み出していくことの方が有意義と思われれます。	今後の検討の中で、土地の面積や場所、周辺環境等も踏まえ、最も効果的な活用の方法を検討してまいります。なお、その際には、市が進める政策との調整を図りながら進めてまいります。

No.	検討の方向性(案)			意見の概要	市の考え方
	区分	ページ	施設(群)名		
66	その他意見	—	施設全般	施設が新設されるたびに、何でこうなってしまったのかと残念に思っています。成功事例を視察するというのもっと力を入れてもよいのではないのでしょうか。建物の視察だけでなく、具体的に府中に取り入れられる点はどこか検討するということはないのでしょうか。新庁舎の整備に当たっても、新庁舎だけを見学するのではなく、それこそ「最適化」した事例を視察して、市民に最適な形でサービスが提供できるよう力を入れていただきたいと期待しております。	ご指摘いただいた点を踏まえ、今後の公共施設マネジメントの取組を進めてまいります。
67	その他意見	—	施設全般	最近も郷土の森観光物産館や熊野神社古墳展示館などの新しい建築物を府中市は建設してきました。今後、新規の建築物の建設をどうしていくのかということは、公共施設マネジメントの考え方として持つ必要があります。ぜひとも必要な施設であれば、資金計画が許せば予算計上し建設することになると思いますが、どのような基準で新設していくのか、今後の計画を進めていく上で重要です。	今後、社会情勢や人口の変化等に伴う市民ニーズの変化が想定されることから、公共施設マネジメント基本方針の中では、行政が担うべき機能を果たす施設であれば新たな整備も可能としております。ただし、施設総量の抑制も行っていく必要があることから、同数もしくは同量の施設の廃止も併せて進めていくこととしております。
68	その他意見	—	施設全般	施設ごとの分析になっていますが、全体を一覧で比較検討できる漏れのない一覧の作成をお願いします。また、9つの分類の中で、市の示す検討の方向性には、「1」、「2」、「3」、「7」以外ありません。なぜ、「4」、「5」、「6」、「8」、「9」がないのか、今後の検討で考えられることなのかを明らかにすることは必要だと思います。	まずは当面の検討内容である短期の検討の方向性について、新たに全体の方向性として記載するとともに、各施設の内容を集計した一覧表を記載しました。また、「4」、「5」、「6」、「8」、「9」のパーンを設定していない理由といたしましては、ほとんどの施設において、まずは機能を維持する方法を検討すべきと考えたためでございます。
69	その他意見	—	取組の進め方	本来、公共施設の改廃(整理・リストラ)を検討するのであれば、一時的にしても新規の公共施設の計画は凍結するのが、一般的な常識と考える。ただし、自治体の場合には、耐震事業や待機児童の解消等緊急性の高い計画を除く。	公共施設マネジメント基本方針を平成24年5月に策定し、この取組を進めてきておりますが、それ以前から計画されていた事業や緊急性が高い事業につきましては、見直しや凍結による様々な影響を考慮し、整備される施設と同数の施設もしくは同量の面積を削減することによって施設総量の抑制を図ることとしております。
70	その他意見	—	取組の進め方	この問題を検討するに当たり、留意しなければならないことは、前提として、地方自治法第1条の2(1)「地方公共団体は、住民の福祉の増進を図ることを基本として、地域における行政を自主的かつ総合的に実施する役割を広く担うものとする。」と地方自治体の基本任務を定めている点をしっかり認識することです。	ご指摘いただいた点を踏まえ、今後の公共施設マネジメントの取組を進めてまいります。
71	その他意見	—	取組の進め方	この検討の方向性をそのまま是としたとき、市の公共施設の適正化は十分なのか、または更なる見直しが必要なのか、経費はどの程度になると予想されるのか、最も知りたい文章が見当たりません。もし重複になるとしても、この部分の追加をお願いします。	公共施設の最適化に向けた取組は、まさにこれから市民の皆様と検討を進める段階であることから、結論ありきの検討にならないよう、現段階では施設総量や費用面の目標数値は設定していません。ただし、中長期の取組に入る段階では、短期の取組の結果を踏まえ、具体的な数値目標を定め、取り組んでいく必要があると考えております。
72	その他意見	—	取組の進め方	まず考えるべきは、必要な機能(ソフト)とは何かであり、建物(ハード)についての議論は、その後が始まるのではないかと。真に市民のために必要なソフトは何かをまず定め、次に、無駄を省くためにはどのようなハードにすべきかを市民全体に問うべきです。	短期的な取組の中では、原則機能を残しつつ、まずは市民が現在の公共施設の機能をどの程度必要としているのかという検証を行ってまいります。その結果を踏まえ、中長期的には、必要となる機能に応じた最適な施設総量となるよう取組を進めてまいります。

No.	検討の方向性(案)			意見の概要	市の考え方
	区分	ページ	施設(群)名		
73	その他意見	—	取組の進め方	現存するハード面をベースに検討がなされているが、ソフト面をベースに考えると違った進め方になるかと思えます。つまり、公共施設として求められる機能は何かを先に考えるものです。ソフト面で不足しているものや今後も求められるものについては、必ずしも建物を新設せずとも、市としてサービスの提供が適切になされるようであれば市民の満足度は落ちないと思えます。施設自体が存在しなくても、市民が望むサービスの提供ができるのであれば、ソフト面は落とさないという説明を、様々な場で先に、かつ十分にしておくことで、スムーズに最適化を進めることができるかと思えます。	最適化の取組が、単なる施設の削減や廃止だけを目指したのではなく、今後の本市の人口や財政状況等を見据え、機能に着目した新たなサービスの提供方法を検討する取組であることを、多くの方に理解いただけるよう取り組んでまいります。また、ハード面だけでなく、ソフト面について短期の取組の検証を行う中で、議論を進めてまいります。
74	その他意見	—	取組の進め方	判定の基準として、存続、縮小、処分、維持、転用、廃止とあるが、三段階区分は短絡すぎないでしょうか。	検討の方向性につきましては、最適化に向けた取組を進めるに当たり、多くの方に興味をもっていただくきっかけとするために策定したものであり、その内容が方向性として決まったものではございません。今後検討を進めていく中で、具体化につなげてまいります。
75	その他意見	—	取組の進め方	公共施設の最適化についての検討を行う場合に、各施設の使用状況の重要性と共に今回検討を行う目的からしてもその経費対効果(コストの削減)が重要なポイントになるが、今回の内容(検討の方向性)では、コスト及び資産構造が不明確で、方向性についての正確な判断ができない。	検討の方向性につきましては、最適化に向けた取組を進めるに当たり、多くの方に興味をもっていただくきっかけとするために策定したものであり、できるだけ情報を絞って、見た目のわかりやすさなどを意識した構成にしております。今後具体的な検討を行っていく中では、各種判断を行う根拠として適切な情報が必要になると考えておりますので、適宜情報を示しながら進めてまいります。
76	その他意見	—	取組の進め方	築年数が古く、耐震的に問題のある建物は、今後の維持保全に莫大な費用がかかる可能性が高いので、移転などを早急に検討することが望ましく、改修工事等に手をつけられないことがベター。	建物の面で課題(老朽化等)を有している施設につきましては、施設の種類から処分が困難な施設を除き、短期の検討内容の中でまずは建物の処分を検討してまいります。
77	その他意見	—	取組の進め方	施設の維持保全については、市民の中にも建築関連の方がたくさんいると思われるので、良い提案をしてもらうことも必要だが、意見が偏らないように全ての市民に提案を仰ぐ必要がある。市は最低でも20年先を見据えた方策を確立することが必要で、市民サービスだけを求め、負担を嫌う市民には毅然とした態度で臨むことが必要である。市内には、市に協力を惜しまないボランティア精神の持ち主もおります。	公共施設マネジメントの取組を進めていく上では、幅広い市民の方々と知恵を出し合いながら進めていくことが重要であると考えております。また、市の現状や課題、この取組の必要性などを市民と共有した中で、実効性のある取組につなげられるよう働きかけを行ってまいります。
78	その他意見	—	取組の進め方	施設の利用者のデータ(人数、年齢構成、利用頻度等)と、その施設に要する費用を使って、利用者1人にいくらの税金がかかっているのかを算出することが、施設の統廃合、また維持保全費用の低減には必須である。市の財政が悪くとも、市民サービスの低下は絶対に困るという市民を説得するためにも必要である。	今後具体的な検討を行っていく中では、各種判断を行う根拠として適切な情報が必要になると考えておりますので、適宜情報を示しながら進めてまいります。
79	その他意見	—	取組の進め方	市行政を質す役割を担う市議会議員に対しても、常々、説明や議論の場をもたれるように切望します。市行政が関係者の協働の下に進歩、改善されていくようにしてください。	議会においても適宜説明を行い、ご意見をいただきながら取組を進めてまいります。
80	その他意見	—	その他	「住みよいまち」とは、どのように考えているのか。	第6次総合計画に掲げる4つの基本目標(①人と人が支えあい幸せを感じるまち、②安全で快適に暮らせる持続可能なまち、③人とコミュニティをはぐくむ文化のまち、④人を魅了するにぎわいと活力のあるまち)が実現したまちが「住みよいまち」であると考えております。

No.	検討の方向性(案)			意見の概要	市の考え方
	区分	ページ	施設(群)名		
81	その他意見	—	その他	府中市には公共施設マネジメントで対象とする建築物、インフラマネジメントで対象とする道路、公園などのほか、両方に共通して存在する工作物や備品が数多く存在します。これらへの対応について、考え方が必要です。	工作物については、その設置目的に応じ、公共施設及びインフラマネジメント対応を検討してまいります。また、施設内の備品については、財産として適切に管理してまいります。
82	その他意見	—	その他	社会教育施設は法律の趣旨に則り、使用料は無料または安くしていただきたいと思っております。	使用料につきましては、平成12年度以降見直しを行っておらず、施設の運営・維持管理費に占める使用料収入の割合は、約12%となっております。施設にかかる費用のほとんどが、施設を利用するしないに関わらず納める市税等であることから、市民の公平性を考慮し、受益者負担の原則に立った見直しが必要であると考えております。
83	その他意見	—	その他	「ハコモノ行政」を長い間続けたツケがまわったのだから、今更市民の皆さん助けてください、的なのものの考え方はやめて、厳しくても節約して、系統的に維持管理を進めてください。したがって、税金の値上げとか利用料の値上げはしないでください。	使用料につきましては、平成12年度以降見直しを行っておらず、施設の運営・維持管理費に占める使用料収入の割合は、約12%となっております。施設にかかる費用のほとんどが、施設を利用するしないに関わらず納める市税等であることから、市民の公平性を考慮し、受益者負担の原則に立った見直しが必要であると考えております。
84	その他意見	—	その他	府中市行財政改革推進プランは、大規模事業のための財源作りになっている気がする。	府中市行財政改革推進プラン【平成26年度～平成29年度】は、第6次府中市総合計画の実現に向け、①市民の参画意欲を高める市政運営、②経営的な視点に立った市政運営、③継続的かつ安定的な市政運営、④健全財政による持続可能な市政運営、の4つの基本施策を掲げ、様々な取組を進めるものとなります。
85	その他意見	—	その他	公共の場として、市民が無償で利用できるパソコンを設置するべきである。	現在中央図書館には情報収集用のパソコンを設置しておりますが、インターネット環境が整備され、パソコンや携帯型情報端末(スマートフォン等)の普及などが進んでいる中、他の施設にパソコンを設置する重要性は低いと考えております。
86	その他意見	—	その他	けやき並木通りの「ちょこりんスポット」は無くさないでください。障害者や年寄りには地下まで自転車を持っていくのは大変です。	「ちょこりん・スポット」につきましては、府中駅南口再開発事業が完了するまでの間、周辺商業施設の利用者を対象とした暫定的な措置として設置したものとしますので、事業終了後には、地下に整備する自転車駐車場をご利用いただくこととなります。なお、地下へ移動するためのエレベーターの設置等を検討しております。
87	その他意見	—	その他	市民農園の利用料を取るのをやめてください。せめて高齢者の利用料はやめてほしいです。年寄りの生きがいになります。	市民農園として統合されてから一定期間が経過し、他市の状況維持管理経費、負担の公平性などを総合的に勘案した結果、緩和措置を終了し、近隣他市と同程度の利用料に改めることが妥当であると考えております。
88	その他意見	—	その他	地域の公会堂の有効利用を検討すべきである。(他1件)	地域の公会堂につきましては各自治会等が所有し、運営している施設であることから、基本的には自主的な活動の場として活用することが第一となりますが、空いている時間などでは、地域単位で実施する各種事業の実施場所として既に活用しており、今後も地域コミュニティを支える重要な施設であると考えております。

No.	検討の方向性(案)			意見の概要	市の考え方
	区分	ページ	施設(群)名		
89	その他意見	—	その他	インフラ管理ボランティアについて、必要なものにはきちんとお金を出すのが普通だと思います。シルバー人材センターの方にやってもらうのも1つの方法だと思います。	行政だけでなく、地域の方々が、道路や公園に対して愛着と責任を持って管理を行うことによって、これまで整備してきたインフラを今後も良好な状態で維持していくことができると考え、インフラ管理ボランティア制度を実施しております。
90	その他意見	—	その他	公共施設とは、道路・橋りょう、公園、下水道などのインフラを除く公共建築物のことを言いますと述べていますが、省かれている公衆トイレは「インフラ」の範ちゅうなのでしょうか。検討対象とすべきと考えますが。	公衆トイレにつきましては、設置されている施設の形態に応じて公共施設、インフラといった取扱いが異なることから、各取組の中で適切な維持管理を検討してまいります。
91	その他意見	—	その他	府中市の公共施設の耐震化について、新庁舎建設などに取り組むのであれば、幹線道路沿線への耐震助成だけでなく、他の都内自治体では実施されている耐震助成(木造ではなく共同住宅を含む。)を行うべきであり、自分達の施設だけ耐震化を進めれば良いという考え方は、自治体として甚だ身勝手だと思われる。	建築物の耐震化につきましては、公共施設を含む市全域の建物を対象とした「府中市耐震改修促進計画」において、耐震化率の目標値を定めるとともに、市と建物所有者の役割分担や重点的に取り組む内容などを定めておりますので、これらに基づいて取り組んでいるところでございます。